



Smiles for All.
すべては、笑顔のために。



東洋水産

発行所 株式会社 水産タイムズ社

編集発行人 越川宏昭

〒108-0014 東京都港区芝5-9-6

TEL 03(3456)7411 FAX 03(3456)7416

ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>

e-mail suisan@suisantimes.co.jp

日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)

購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2011年(平成23年)

10月27日(木) 第11221号

ASMI、新日本事務所が活動スタート

一時活動を
休止していた
アラスカシー
フードマーケ
ティング協会
(ASMI)
日本事務所が
新たに開設さ
れた。日本で
の営業総代理
店として、ア
ビアレップ



左からリュッタ氏、トンコヴィツ
チ氏、嶋田氏

ス・マーケティング・ガーデン(東京都新宿
区、嶋田智之日本支社長)が正式契約し、10
月1日から活動。新日本事務所は25日、開設
記念レセプション・パーティーを東京・汐留
のレストラン「Fish Bank TOKYO」で開い
た。

ASMI日本事務所の代表を務める嶋田
マネージング・ディレクターが今後の日本市
場での活動方針などを説明。輸入業者やメデ

ィア関連など約150人が参加し、新メンバー
と懇親を深めた。

開設記念パーティーにはASMI本部から
エグゼクティブ・ディレクターのレイ・リュ
ッタ氏とアジア担当マーケティングコーディネ
ーターのアレクサ・トンコヴィッチ氏、A
SMI理事のデニス・グルケ氏(アイスクル
シーフーズ社CEO)らが駆けつけた。

リュッタ氏は「1987年にASMIの海外事
務所が初めて開設されたのがここ日本。20年
経過した現在、我々と日本の皆様との関係は
かつてないほど強いものとなっている。日本
市場はアラスカ産シーフードの最大の輸出先
だが、新世代の消費者にはまだまだ大きなポ
テンシャルが潜んでいる。今後はより斬新で
フレッシュな方法でメッセージを発信し、よ
り多くの層にアピールし、さらなる市場拡大
の可能性を追求していきたい」と挨拶した。
その後、嶋田氏が日本事務所の新メンバーを
紹介。今後の活動方針などを示した。

(2面に続く)

- 9月累計の道産スリ身、前年比78%…………… 2
全水加工連品質審査会、大臣賞に武輪水産… 2
地域漁業学会、4～6日に鹿児島で…………… 2
農林漁業団体、TPP反対訴え集会…………… 3
OPRTマグロキャンペーン
今回は小売店の主体性を重視…………… 3
全水加工連 第22回全国水産加工品総合品質審
査会 受賞者一覧…………… 4

業界人物スポット

(10471)

鈴茂器工株式会社
代表取締役社長

おねだ いくや
小根田 育治氏

（表紙からの続き）嶋田氏は「水産・外食業界」「メディア」「生活者」を連携させたマーケティング・PR戦略について説明。販促ツールやメディア活用により消費者との接点を強化し、アラスカシーフードの良さを体感してもらうことで、ブランド力を徹底的に強化する方針を示した。

具体的には①販促ツールの見直し・刷新②定期的なメディア発信によるブランド戦略③FAO 準拠

のサステナビリティ認証システムの理解促進と浸透によるブランド力強化

——などを基本方針として挙げた。また、数カ月以内に親善大使としてタレントを起用する方針も示し、「私、嶋田を使い倒して頂きたい。組織力・創造性・情熱を持って取り組んでいきたい」と今後の活躍を参加者に約束した。

会場にはタラバガニやベニザケ、ギンダラなどアラスカ産シーフードをふんだんに使った豪華料理がずらりと並んだ。アラスカの地ビールなどもふるまわれた。

9月累計の道産スリ身、前年比78%

全国すり身協会（7工場）は9月の道産スリ身の生産量をまとめた。単月は3039t、1～9月の累計は1万4348t（前年同期1万7949t）。スケソウダラの8月の水揚げ数量は2364t、1～8月の累計水揚げは6万7531t、ホッケの8月水揚げ数量は53t、1～8月の累計水揚げは1万3490t。

一方、スリ身類とスケソウダラ輸入動向では、1～8月のタラ類スリ身が4万5016t（前年同期4万0077t）、イトヨリスリ身が2万8810t（同3万5021t）、IQ魚肉（アジ）チリがゼロ（同ゼロ）、カマス・タイ類魚肉1032t（同1039t）、その他魚の魚肉6万5748t（同7万1520t）、スケソウダラ冷凍853t（同809t）。

また、8月末の冷凍スリ身の在庫は、スケソウダラが2万4359t（前年同期比96%）、その他が2万5005t（同69%）の合計4万9364t（同80%）。



リュッタ氏が乾杯

全水加工連品質審査会、大臣賞に武輪水産「鯖スパイシーマリネ」など

全国水産加工業協同組合連合会（全水加工連）は第22回全国水産加工品総合品質審査会の審査結果を25日発表した。農林水産大臣賞には「鯖スパイシーマリネ」（武輪水産、青森・八戸）、「贅沢いわしフィレゆず」（アルガマリーナ、千葉・鴨川）、「釜ゆでいか」（清水商店、茨城・大洗）の3品。（4ページに受賞者名簿）

1次審査（出品数749品）を通過した水産加工品129品（一般審査113品、特別審査16品）を対象に、14人の審査委員が21日に最終選考となる2次審査を行った。今年度初めて設けられた「がんばろう！日本」賞には青森（2品）、宮城（3品）、福島（2品）、茨城（2品）、千葉（2品）の水産加工品計11点が選ばれた。

地域漁業学会、4～6日に鹿児島で

地域漁業学会は11月4～6日に鹿児島大学で今年度大会を開催。5日はシンポジウム「離島漁業の存在基盤の条件と課題」。内容は「離島漁業における条件不利性と水産政策」（東京海洋大学・工藤貴史氏）、「鹿児島県における離島行政・政策」（鹿児島県庁・西野博氏）、「離島漁業への公的支援と漁業構造の変化」（鹿児島大学・鳥居享司氏）、「山口県の離島部における若年者の流入、定着条件」（水産大学校・大谷誠氏）「離島における水産物流通の現状」（鹿児島県漁連・宮内和一郎氏）。

業界人物スポット

(10471)

鈴茂器工株式会社
代表取締役社長

おねだ いくや氏
小根田 育治氏

寿司ロボットメーカーを立ち上げた故鈴木喜作氏の片腕として活躍。営業畑、生産部門を経験し、平成16年から社長。昭和63年に握りから包装までを自動化した「包装寿司ロボット」を海外展開すべく、ニューヨークへ単身乗り込んだ。苦戦の末、途方に暮れつつ飛び込んだデリカテッセンで着目され、「これが海外展開の突破口を開いた」と述懐する。昭和18年、山梨県生まれ。

農林漁業団体、ＴＰＰ反対訴え集会

J F 全漁連は環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉参加に反対するＪＡグループ、農林業団体、消費者団体、日本医師会などと共同で 26 日、「ＴＰＰ交渉参加に反対し日本の食を守る全国決起集会」を東京・日比谷の野外音楽堂で行った。集会終了後は、約 3000 人が霞が関などをデモ行進した。

決起集会に先立ち 25 日、集会関係者が都内で記者会見を開き、9 つの団体・大学の代表がＴＰＰについて意見を述べた。



記者会見する団体の代表ら

J A グループを束ねる全国農業協同組合中央会（全中）の萬歳（ばんざい）章会長は冒頭、「ＴＰＰ交渉は例外なき関税撤廃を原則としており、国内農業の振興や食料自給率の向上との両立は不可能だ」と改めてＴＰＰ反対を表明。

服部会長「ＴＰＰは復興の力もぎとる」

次いで、全漁連の服部郁弘会長は「水産業はこれまで進められた大幅な自由化で、安価な輸入水産物が流入し長年にわたって価格が低迷して危機的状況」と強調。その上で、「東日本大震災で重要な漁場が大きな被害を受けた。全国の漁業者が一体となって復興に取り組んでいる今、その力をもぎ取るようなＴＰＰには断固として反対だ」と釘を刺した。



発言する服部会長

有機農業を推進する大地を守る会の藤田和芳代表は「ＴＰＰに参加した場合、日本の食料自給率（カロリーベース）は現在の 40% から 14% に低下する。このようなことは容認できない」と語気を強めた。

また、中央大学理事長でＴＰＰを考える国民会議の副代表の久野修慈氏は「日本の貿易量は中国を含めた東アジア諸国が 40% 以上を占める。アメリカは 13% ぐらい。これからの日本は東アジアを重視しなければならず、中国や韓国がＴＰＰ不参加の意向を示す中、アメリカの経済政策に巻き込まれてはならな

い」と指摘した。

ＯＰＲＴマグロキャンペーン 今回は小売店の主体性重視

地元の魚屋のロコミでマグロ資源・まぐろ漁業の大切さを訴えようと、責任あるまぐろ漁業推進機構（ＯＰＲＴ）と全国水産物商業協同組合連合会（全水商連）は「天然・刺身マグロキャンペーン」を 11 月 5 ～12 日に展開する。今回で 8 回目。

今年は北海道から四国まで全国 11 地域の鮮魚小売店 100 店が参加する予定。これまでの全国一律キャンペーンではなく、各鮮魚店の「手づくり感」を出してもらうため、主催者側からの資材の提供などはほとんどない。

消費者にどう訴えるか、参加鮮魚店の知恵と工夫が求められる。キャンペーンポスターも店名を入れて掲げてもらう。消費者が応募すると抽選で当たるマグロの刺身抽選なども各参加店で行う。

また、今年の標語は「被災地のさかな屋さん支援！」「食べて応援しよう！」と、東日本大震災復興支援を前面に出している。キャンペーンに参加する各鮮魚店から集めた参加費は、被災地の鮮魚店に義援金として送られる。

参加鮮魚店の独自カラーに期待

水産庁記者クラブで記者会見したＯＰＲＴの原田雄一郎専務は「過去には北海道から九州まで全水商連加盟



（左から）村井専務、原田専務、人見三郎事業部長（ＯＰＲＴ）

の鮮魚店 15000 店が参加し、キャンペーン内容も統一したこともあったが、今回は地元の魚屋さんが消費者に直接語りかける地元密着型に切り替えた」と話し、「限定した 100 店が独自のカラーを打ち出してほしい」と期待を込めた。

全水商連の村井光治専務は「これまで 7 回実施しているが、マンネリ化したというのが共通認識だ。自ら手を挙げたやる気のある鮮魚店がどんなキャンペーンを展開するのか。期待半分、不安半分だが楽しみだ」と語った。

全水加工連 第22回全国水産加工品総合品質審査会 受賞者一覧

《農林水産大臣賞》

商品名	企業名	所在地	代表者
鯖スパイシーマリネ	武輪水産(株)	青森県八戸市	武輪俊彦
贅沢いわしフィレゆず	(有)アルガマリーナ	千葉県鴨川市	金高武夫
釜ゆでいか	(株)清水商店	茨城県東茨城郡大洗町	清水洋治

《水産庁長官賞》

湯かけ鯨	(株)日野商店	長崎県長崎市	日野裕一
こんかぶり	(有)柿太水産	富山県氷見市	柿谷正成
骨まで食べられる焼き魚 あじ	(株)マルコーフーズ	静岡県沼津市	五十嵐せつ子
ほめられ香りだし	(株)マルモ	鹿児島県鹿児島市	大茂為継
まぐろ生利節	カネオト石橋商店	静岡県焼津市	石橋利文

《東京都知事賞》

がごめ昆布 しょうゆ味	(株)三豊	東京都杉並区	塩田康就
牡蠣味噌	末永海産(株)	宮城県石巻市	末永勤二
海峡サーモンスモーク	(株)ディメール	青森県八戸市	島守康友
タコのコンフィ	(株)あ印	茨城県ひたちなか市	鯉沼勝久
天然真鯛・金目鯛西京味噌漬け	(有)スズ市水産	千葉県南房総市千倉町	鈴木基進

《大日本水産会》

鯖いぶし	(株)カネヨ	静岡県焼津市	中山正義
さしみほっけの一夜干し	(有)新潟たけうち	新潟県新潟市	竹内巖
マーブル模様のチーズ伊達巻	マルス蒲鉾工業(株)	新潟県新潟市	小関孝之
旨干(うまさぼし)	(有)マルデンタ	福島県いわき市	小野効平
美飾遊膳「できたて」生めんたい(無着色)	丸市食品(株)	福井県福井市	勝木雄次
銀さば粕め	丸竹八戸水産(株)	青森県八戸市	島守チヤ
燻し 生利節 スライス	カクイシ大石商店	静岡県焼津市	大石幸司
鯖菊花巻	(株)味の加久の屋	青森県八戸市	野田一夫
食べてくれてママ安心 いわしふりかけ	(株)ホクチン	石川県金沢市	山上智之
よっぱらいイカの一夜干し	合資会社 金丸水産	宮城県東臼杵郡	金丸寿

《全国水産加工業協同組合連合会会長賞》

はこいり娘	(株)博多ふくいち	福岡県糟屋郡	小山由基政
広島県産下ごしらえ牡蠣	タカノブ食品(株)	広島県府中市	岡崎浩二
鯛茶漬	(株)ジャパン・シーフーズ	福岡県福岡市	井上幸一
三陸産天然あわび姿蒸し煮貝	(株)信玄食品	山梨県甲州市	中村和子
かに甲羅盛り	(株)ハマダセイ	兵庫県美方郡	濱田義夫
へしこの缶詰	(株)前川幸一商店	福井県福井市	天谷新司
紅鮭切身筵(むしろ)巻き山漬け 甘口	(株)塩釜水産食品	宮城県塩釜市	岩崎務
鮭の酒びたし粕漬	(株)永徳	新潟県村上市	永田政義
赤魚仙台味噌粕漬け	(株)稲井	宮城県多賀城市	稲井謙一
キングサーモン十二詩	大栄魚類(株)	新潟県新潟市	田村優

《アイルランド政府商務庁長官賞》

真あじ開き(特大)	(株)山安	神奈川県小田原市	山田義征
-----------	-------	----------	------

《オランダ王国大使賞》

純米酒干しあじ開き	(株)谷藤水産	茨城県東茨城郡大洗町	田山秀幸
-----------	---------	------------	------

《ノルウェー王国大使賞》

さば粕漬	(株)ヤマソウ水産	静岡県焼津市	増田和弘
------	-----------	--------	------

《がんばろう！日本賞》

鯖スパイシーマリネ	武輪水産(株)	青森県八戸市	武輪俊彦
贅沢いわしフィレゆず	(有)アルガマリーナ	千葉県鴨川市	金高武夫
釜ゆでいか	(株)清水商店	茨城県東茨城郡大洗町	清水洋治
牡蠣味噌	末永海産(株)	宮城県石巻市	末永勤二
海峡サーモンスモーク	(株)ディメール	青森県八戸市	島守康友
旨干(うまさぼし)	(有)マルデンタ	福島県いわき市	小野効平
タコのコンフィ	(株)あ印	茨城県ひたちなか市	鯉沼勝久
天然真鯛・金目鯛西京味噌漬け	(有)スズ市水産	千葉県南房総市千倉町	鈴木基進
紅鮭切身筵(むしろ)巻き山漬け 甘口	(株)塩釜水産食品	宮城県塩釜市	岩崎務
昔のままのさつま揚げ	マルブン食品(株)	宮城県塩釜市	佐藤徳雄
生鰹わら焼きタタキ	(株)オーシャン物産	福島県いわき市	細木茂彦